

## 令和 2 年度事業の進捗状況について

### 重点施策 1：環境こだわり農業の一層の拡大

#### 1. 環境保全型農業直接支払交付金

##### (1) 実施面積の推移

令和元年度の環境保全型農業直接支払交付金取組面積は 14,366ha（前年差△93ha）で、全国の実施面積（79,839ha）の約 2 割を占めています。また滋賀県は耕地面積に占める割合で日本一となっています。

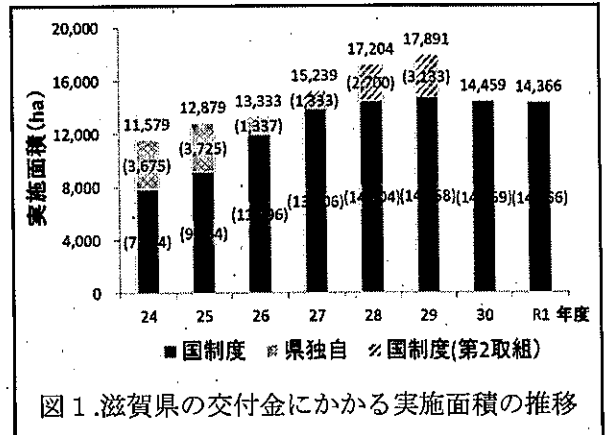


図 1. 滋賀県の交付金にかかる実施面積の推移

##### (2) 支援対象取組別の面積

取組面積のうち、最も多いのは⑪「緩効性肥料の利用および長期中干し（5,838ha）」で、次いで⑧「IPM の実践、畦畔の人手除草および長期中干し（5,576ha）」となっており、これらの取組で約 8 割を占めています。また、滋賀県は地域特認取組が全体の 9 割を占めており、全国と比較しても高い割合となっています。

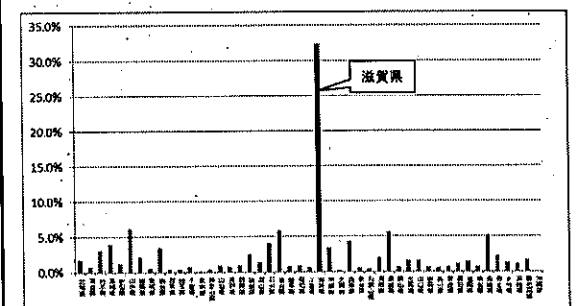


図 2. 環境保全型農業の取組面積が耕地面積に占める割合

##### (3) 見直しの概要

###### ○全国共通取組の主なもの

###### ア 有機農業の取組

- ・ 交付単価 8,000 円/10a⇒12,000 円/10a
- ・ 有機 JAS 相当の取組が必要となった

###### ○地域特認取組で新たに認められたもの

###### ア 「緩効性肥料の利用および長期中干し」

- ・ 水質保全に効果がある取組として再申請し承認
- ・ 濁水対策に加えて緩効性肥料の被膜殻流出防止対策の要件化
- ・ 対象作物水稲 ・ 交付単価 4,000 円/10a（変更なし）

###### イ 「殺虫殺菌剤および化学肥料を使用しない栽培」

- ・ オーガニック農業を拡大するため新たな地域特認として申請し承認
- ・ 対象作物水稲 ・ 交付単価 6,000 円/10a（新設）

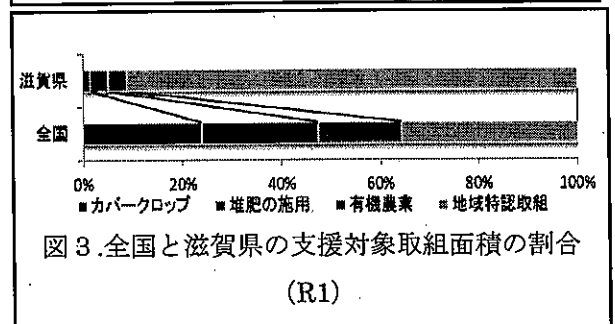


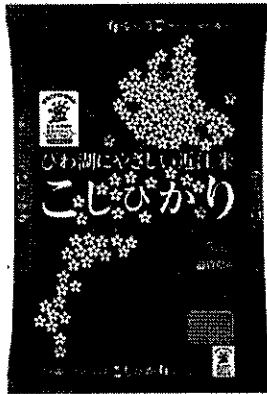
図 3. 全国と滋賀県の支援対象取組面積の割合 (R1)

## 重点施策2：環境こだわり農産物の有利販売・流通拡大に向けた新たな取組

### 1. 環境こだわり農産物流通拡大事業（米）

#### (1) コシヒカリ統一デザイン米袋流通促進に対する助成

全農しがに同行し米袋活用の意向等のヒアリングを卸売事業者に実施し、7月6日～7月17日の期間で公募



**環境こだわり米こしひかり流通拡大事業  
公募のお知らせ**

環境こだわり米こしひかりの仕分を標準し、系統性に新機軸として  
広め販売するため、流通促進の支援を行います。  
～支援と称するものは、必ずして頂きたい～

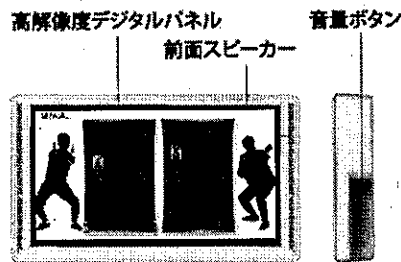
1. 公募期間  
令和2年7月6日（月）～令和2年7月17日（金）  
※公募開始の形式で申請書が事務局に届いた場合、  
申請書は随時受け付けます。
2. 対象者  
米卸売事業者
3. 支援内容  
環境こだわり米こしひかりの流通販売の促進を目的として、  
県が指定する環境こだわり米こしひかり（マーク）と印刷した米袋を  
作成する際に必要な経費（紙の作成費・印刷費）を助成する。  
補助率は1/3以内とする。  
※予算額を超えて必要になった場合、県外販売予定店舗数、  
販売予定数量（両数）等により補助額を調整します。

お問い合わせ先  
沼津農産物本部農産部のブランド推進課 TEL：077-529-3695  
JA全農沼津米産地振興課 TEL：077-521-1678

※新米販路開拓のため、米の原価は仕向米出売価格とは異なります。

#### (2) コシヒカリ販売促進等に対する助成

コシヒカリとみずかがみの新米時期に合わせた量販店店頭販促に対す  
る助成。集荷事業者向けに7月6日～7月17日の期間で公募



### 2. 環境こだわり農産物流通拡大事業（野菜）

#### (1) 重点推進品目の選定

環境こだわり野菜のうち、取組面積の多い以下の品目に対する各関係機関  
の意向調査を行い、作付拡大が期待される品目を重点推進品目として選定す  
る。重点推進品目候補：ブロッコリー、こまつな、かぶ、ほうれんそう、し  
ゅんぎく、キャベツ、みずな、カボチャ、キュウリ、トマト

#### (2) 活動内容の検討

選定された重点推進品目の主産地や関係機関・団体とPR手法を検討し事  
業を実施（事業主体は園芸農産振興協議会）。

想定する事業内容：ポスター、POP、ミニのぼり等のPR資材作成（デザ  
インはR元年度事業と調和）、作付情報等の情報発信、共通野菜袋の作成（1/3  
補助）等。

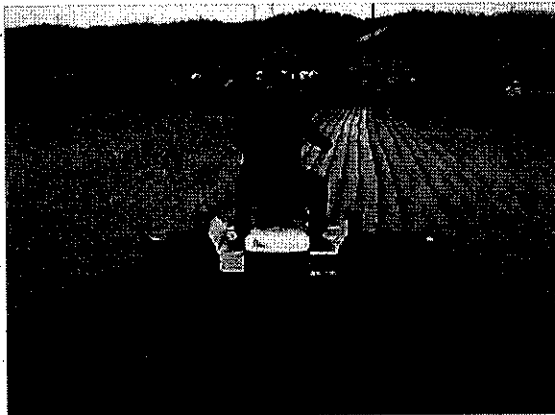
### 重点施策3：環境こだわり農業の象徴的な取組としてオーガニック農業を推進

#### 1. オーガニック米生産拡大事業

- ・乗用型水田除草機導入支援：機械導入に要する経費の3/10を補助
- ・有機JAS認証取得支援：指導人材の育成及び認証取得に要する経費の1/2を補助
- ・安定生産技術の普及啓発：栽培技術等に関する実証試験の実施や実演会・研修会を開催
- ・啓発用資料の作成：「水稻における有機JAS取得の手引き（仮称）」作成

#### 2. オーガニック米等販路開拓事業

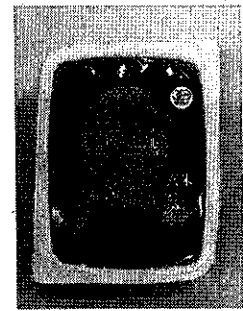
- ・生産・企画会議の開催：関係団体・事業者と連携し産地として流通拡大を推進
- ・新規販路の開拓：オーガニック EXPO 等への出展や各種 PR を通じた情報発信を実施
- ・販路開拓マネージャの設置：首都圏の流通網整備を進め、試験的販売を検討
- ・新商品の開発：「オーガニック近江米」を原材料に用いた加工品（米粉）を検討
- ・オーガニックフォーラムの開催：「オーガニック近江米」の認知度向上を目的に開催



導入を進めている乗用型水田除草機



商品化された「オーガニック近江米」



### 3. みんなで築く「おいしいオーガニック茶」産地育成事業

#### (1) うま味のあるオーガニック茶生産技術の開発（茶業指導所）

- ・土づくり、肥培管理による品質改善

#### (2) オーガニック茶産地体制の構築支援

- ・製茶体制を含めた一貫体系の構築(甲賀地域)  
オーガニック茶の生産実証、品質評価
- ・オーガニック茶の製茶体制構築のための検討
- ・オーガニック茶の生産拡大(県内生産組織)  
オーガニック茶の生産実証ほの設置  
販売方法の検討

### 4. 魚のゆりかご水田

#### (1) 各地域の取組の概要



魚道設置のようす(4月17日野洲市須原)



地域での観察会(6月21日彦根市田附町)

#### (2) 販路拡大に向けた取組

- ・4~6月 取組状況をメルマガで首都圏生協等へ発信
- ・10月 現地視察ツアー(予定)
- ・11月 商談会や直米所でのPR

#### (3) 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会（構成 25 団体）

- ①ブランド価値の向上
- ②統一パッケージ袋の作成について
- ③先進地視察研修

#### (4) 取組の拡大

- ・各地域で新規取組に向け、魚道資材提供や設置にかかる現地指導の支援
- ・令和3年産に向けた新規推進地域：野洲市野田など